



この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
このチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

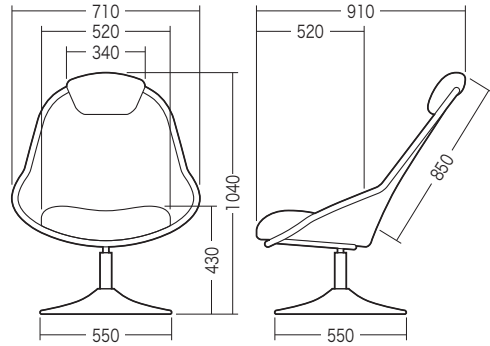
組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

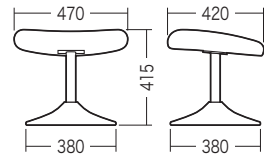
★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

### 完成図

<チェア>

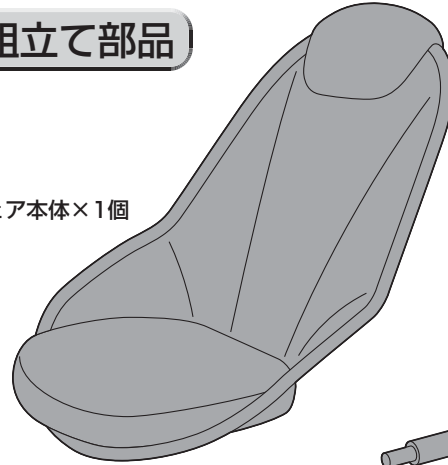


<オットマン>

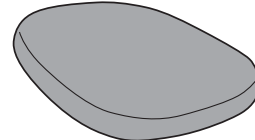
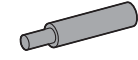


### 組立て部品

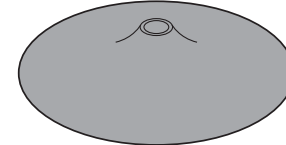
チェア本体×1個



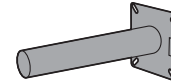
支柱A×1個



オットマン本体×1個

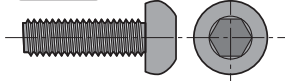


台座(大)×1個

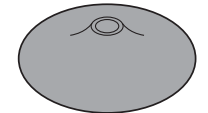


支柱B×1個

使用ボルト



ボルト×4本 [M6×20]



台座(小)×1個



六角レンチ×1本

### チェアの組立て方

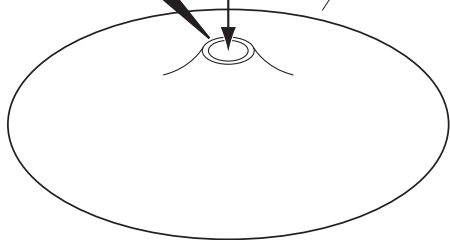
1 台座(大)に支柱Aを差し込みます。

注意

支柱Aが後で抜ける事の無い様に、確実に圧入します。

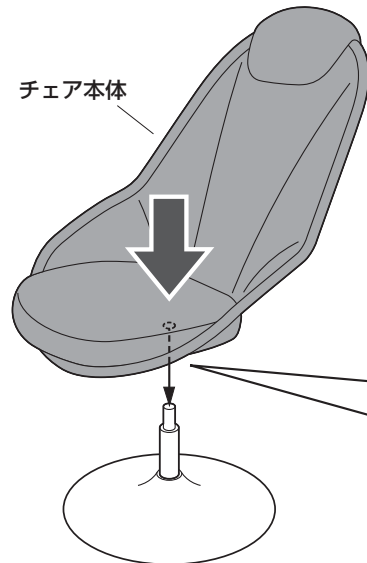
支柱A

台座(大)



2 チェア本体を支柱Aに差し込んで完成です。

チェア本体

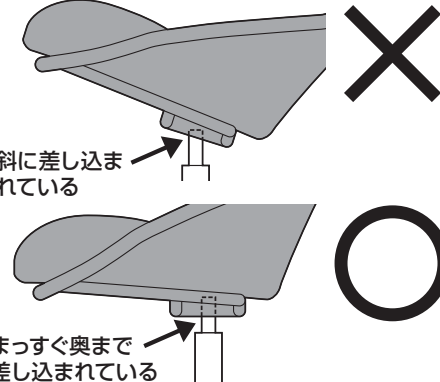


注意

チェア本体を支柱Aにまっすぐ奥まで差し込んでください。  
斜に差し込まれていると、奥まで差し込まれず、台座が脱落するなど思わぬ事故の原因となります。

斜に差し込まれている

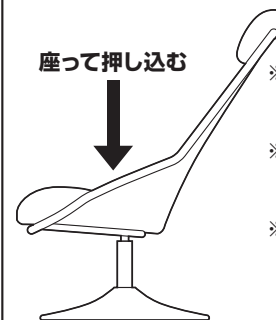
まっすぐ奥まで差し込まれている



最後に

※支柱Aが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む



※何度か座面に体重をかけて支柱Aを確実に差し込んでください。

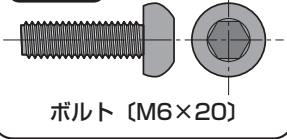
※体重の軽い方では支柱Aが深く差し込まれない場合があります。

※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時に台座が抜け落ちる場合があります。

# オットマンの組立て方

## 1 オットマン本体裏面に支柱Bを取付けます。

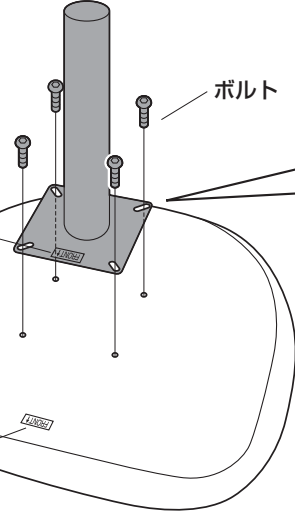
### 使用ボルト



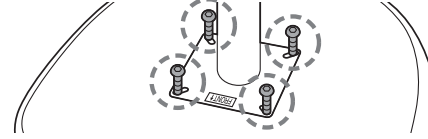
ボルト (M6×20)

支柱B  
※FRONTと書かれた方が前です。

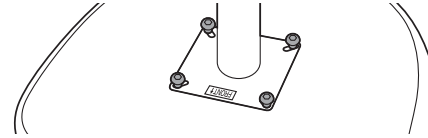
オットマン本体裏面  
※FRONTと書かれた方が前です。



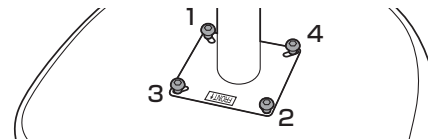
①4本のボルトをゆるく付けます。



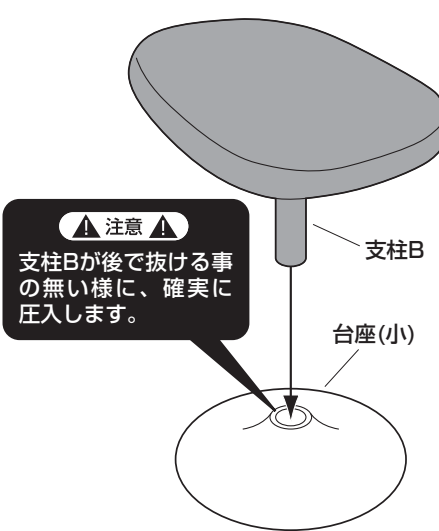
②全てのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



③最後にボルトを1,2,3,4の順にきつく締めつけます。



## 2 台座(小)に支柱Bを差し込んで完成です。

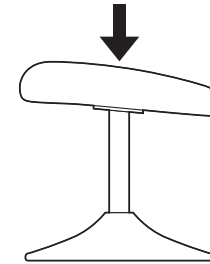


⚠ 注意 ⚠  
支柱Bが後で抜ける事の無い様に、確実に圧入します。

### 最後に

※支柱Bが深く差し込まれるように、オットマン本体にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む



※何度かオットマン本体に体重をかけて支柱Bを確実に差し込んでください。  
※体重の軽い方では支柱Bが深く差し込まれない場合があります。  
※固定が不十分ですと、オットマンを持ち上げた時に台座が抜け落ちる場合があります。

### チェアの品質表示

チェア外形寸法：幅710×奥行910×高さ1040mm (座面高さ430mm)

オットマン外形寸法：幅470×奥行420×高さ415mm

構造部材：座部/合板 背もたれ部/合板 脚部/スチール

張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

### ⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面やオットマンの上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。